

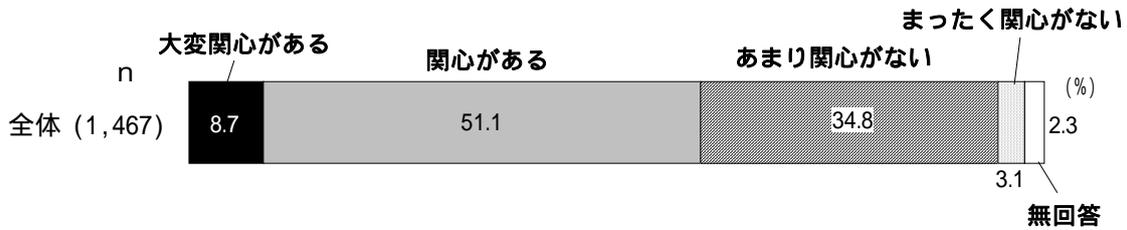
## 5 広報・広聴活動について

### (1) 県の政策や施策などについての関心度

『関心がある』が約6割

問15 あなたは、県の政策や施策などについて関心がありますか。( は1つ)

<図表5 - 1> 県の政策や施策などについての関心度



県の政策や施策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」が8.7%で、「関心がある」(51.1%)が5割を超えており、これらを合わせると、『関心がある』(59.8%)は約6割となっている。一方、「あまり関心がない」が34.8%で「まったく関心がない」が3.1%である。(図表5 - 1)

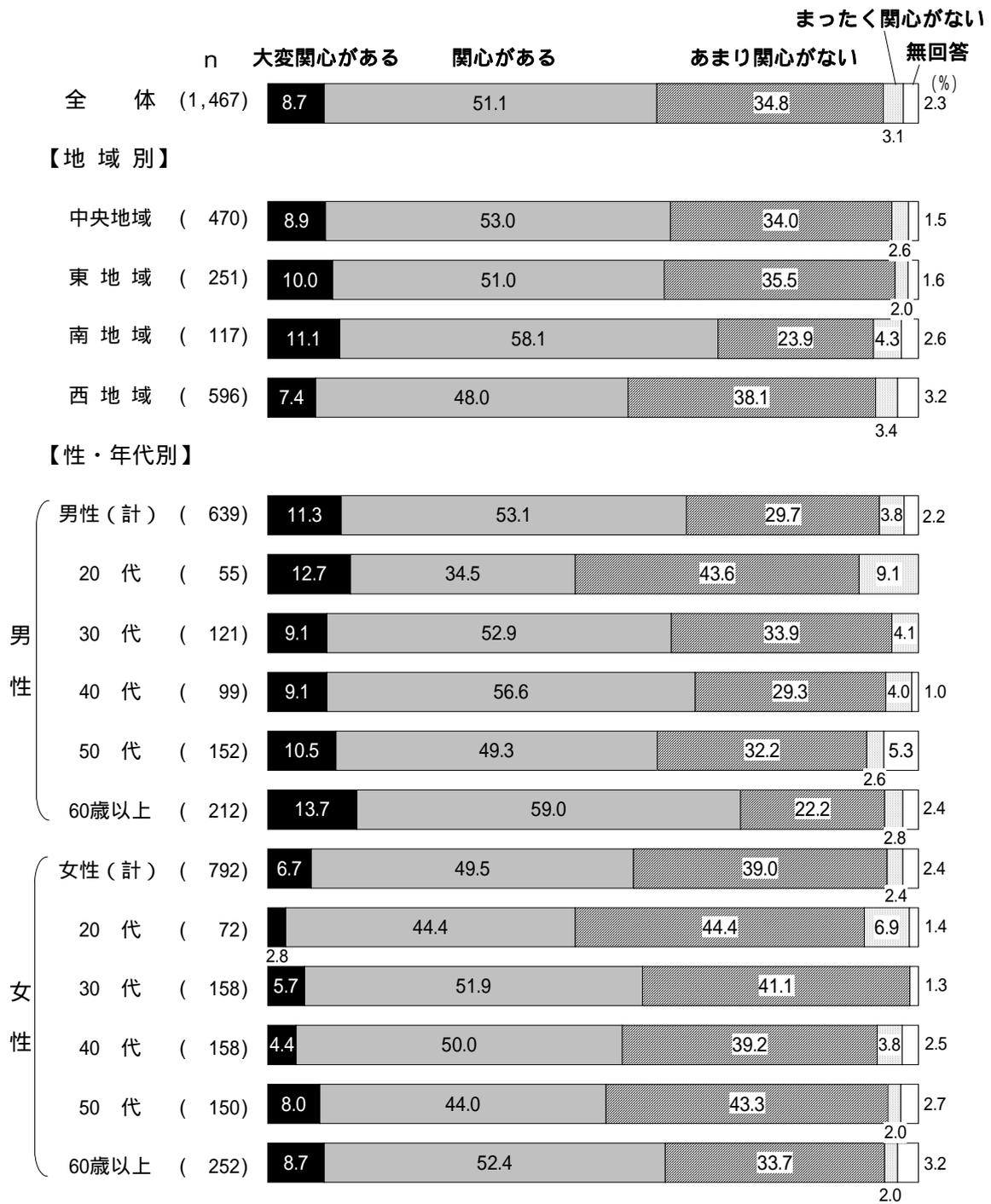
#### 【地域別】

『関心がある』は、“南地域”(69.2%)が約7割と他地域より高く、“西地域”(55.4%)が最も低い。(図表5 - 2)

#### 【性・年代別】

『関心がある』は男女ともに60歳以上で高く、特に、男性(72.7%)では7割を超える。逆に20代では低くなっており、男女ともに5割を下回る。(図表5 - 2)

<図表5 - 2> 県の政策や施策などについての関心度 / 地域別、性・年代別

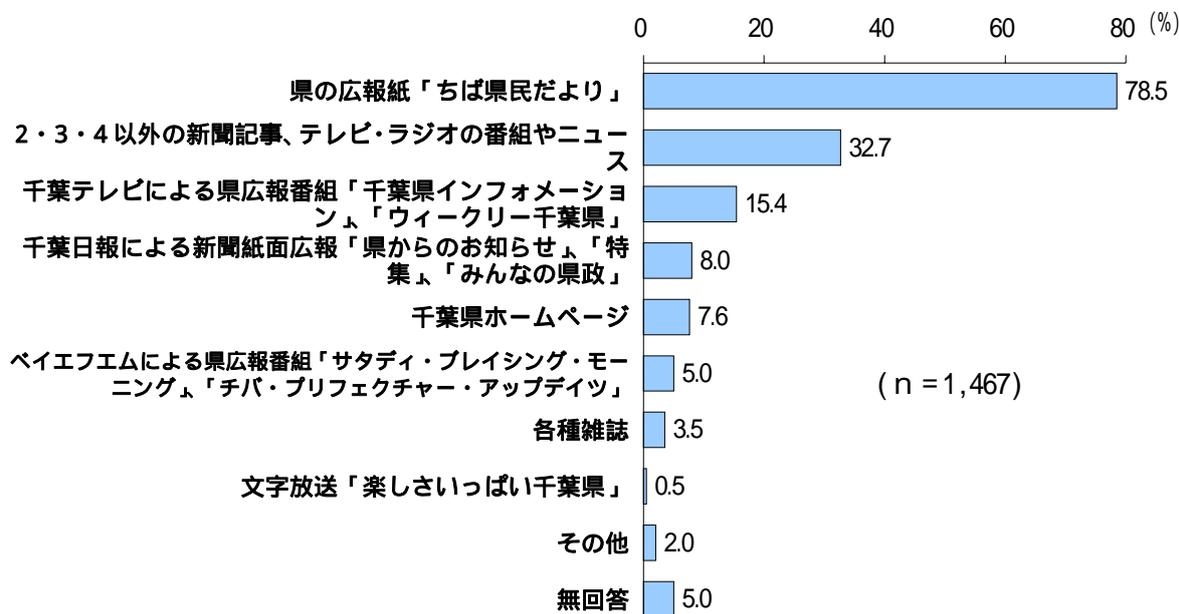


## (2) 県政に関する情報を得る手段

「県の広報紙『ちば県民だより』」が約8割

問16 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(はいいくつでも)

<図表5-3> 県政に関する情報を得る手段(複数回答)



県政に関する情報を得る手段をいくつでも選んでもらったところ、「県の広報紙『ちば県民だより』」(78.5%)が約8割で最も多かった。次いで、「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」(32.7%)が3割を超え、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(15.4%)が1割台半ばとなっている。(図表5-3)

(「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」における、2・3・4とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、『特集』、『みんなの県政』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、『ウィークリー千葉県』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、『チバ・プリフェクチャー・アップデート』を指す)

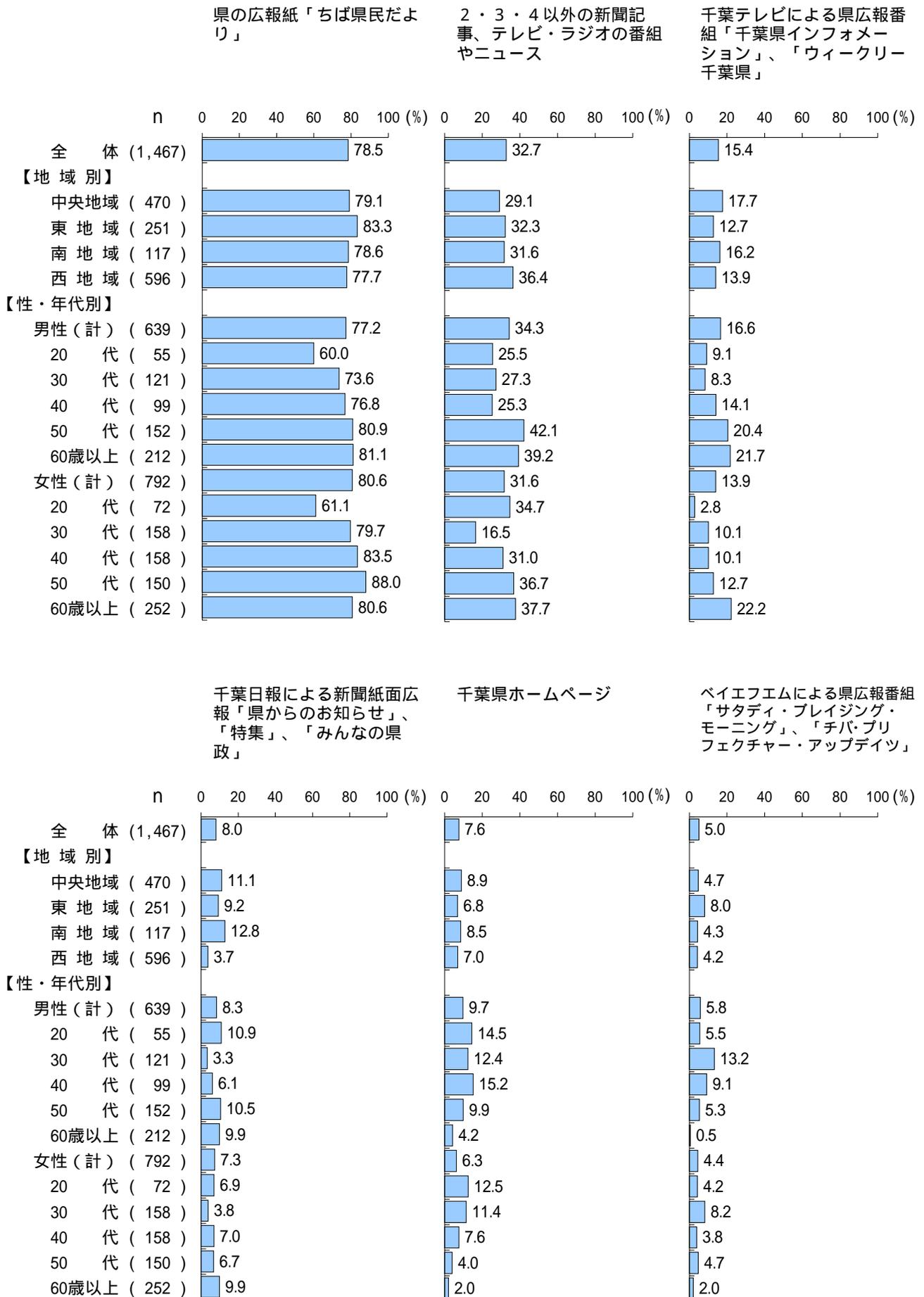
### 【地域別】

「県の広報紙『ちば県民だより』」は“東地域”(83.3%)が唯一8割台半ばで、「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は、“西地域”(36.4%)で3割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表5-4)

### 【性・年代別】

「県の広報紙『ちば県民だより』」は男女ともに30歳以上は7割を超えているが、20代で6割となっている。「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は、男性の50歳以上と30代を除く女性が3割以上と高い。「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」は、男性の50歳以上、女性60歳以上で2割を超え他の年代より高い。(図表5-4)

<図表5 - 4> 県政に関する情報を得る手段 / 地域別、性・年代別 (上位6項目)

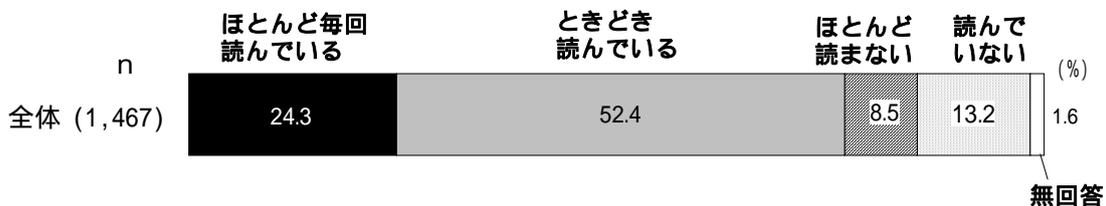


### (3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

『読んでいる』が7割台半ば

問17 県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。( は1つ)

<図表5 - 5> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(24.3%)は2割台半ばで、「ときどき読んでいる」(52.4%)が5割を超え最も多い。これらを合わせた『読んでいる』(76.7%)は7割台半ばとなっている。一方、「ほとんど読まない」(8.5%)と「読んでいない」(13.2%)を合わせた『読んでいない』(21.7%)は2割を超える。(図表5 - 5)

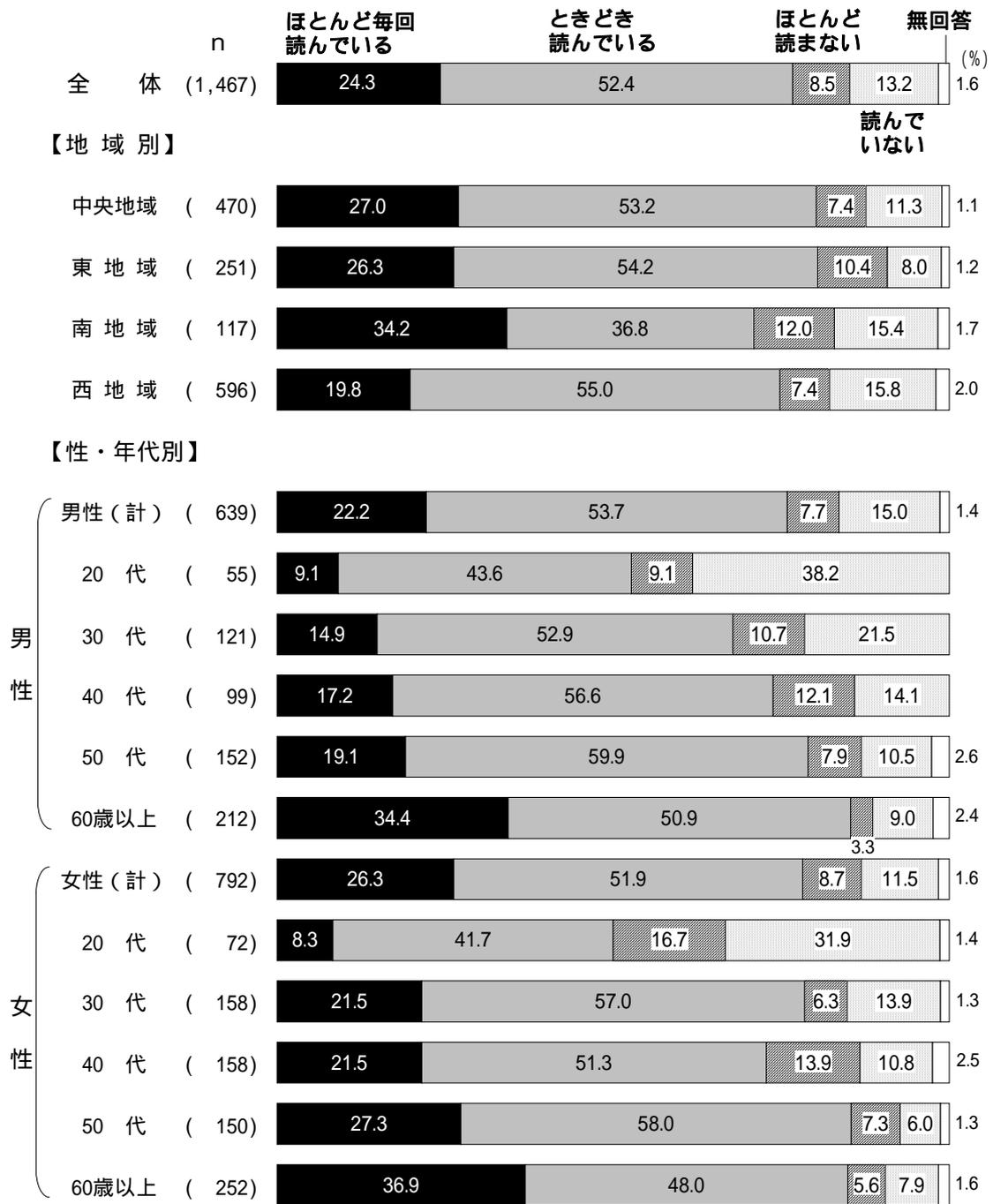
#### 【地域別】

『読んでいる』は、“東地域”(80.5%)と“中央地域”(80.2%)で8割を超え高い。次いで、“西地域”(74.8%)、“南地域”(71.0%)となっている。なお、「ほとんど毎回読んでいる」は、“南地域”(34.2%)が3割台半ばで最も高い。(図表5 - 6)

#### 【性・年代別】

男女とも、年代が上がるほど『読んでいる』が増える傾向にある。なお、20代は男女とも『読んでいない』が約5割となっている。(図表5 - 6)

<図表5 - 6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 / 地域別、性・年代別



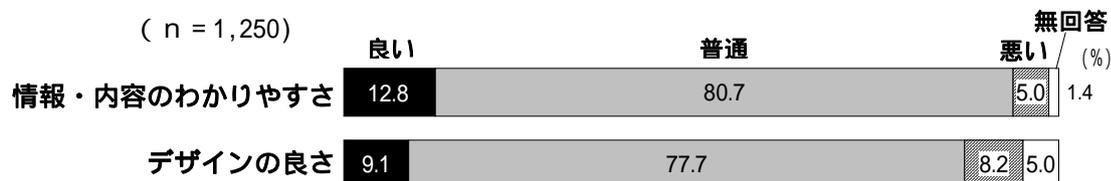
### ( 3 - 1 ) 「ちば県民だより」の内容について

情報・内容のわかりやすさ、デザインの良さともに「良い」は1割前後

(問17で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問17 - 1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。( はそれぞれ1つずつ)

<図表5 - 7> 「ちば県民だより」の内容について



問17で「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「ほとんど読まない」と回答した1,250人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、情報・内容のわかりやすさは、「良い」(12.8%)が1割を超え、「普通」(80.7%)が8割となっている。

デザインの良さは、「良い」(9.1%)が約1割で、「普通」(77.7%)が約8割となっている。(図表5 - 7)

#### 【地域別】

情報・内容のわかりやすさは、「良い」が“南地域”(18.6%)で他地域よりやや高く、“西地域”(9.8%)が最も低くなっている。

デザインの良さについては、「良い」が“東地域”(11.4%)で他地域より高く、“西地域”は(7.1%)が最も低かった。(図表5 - 8)

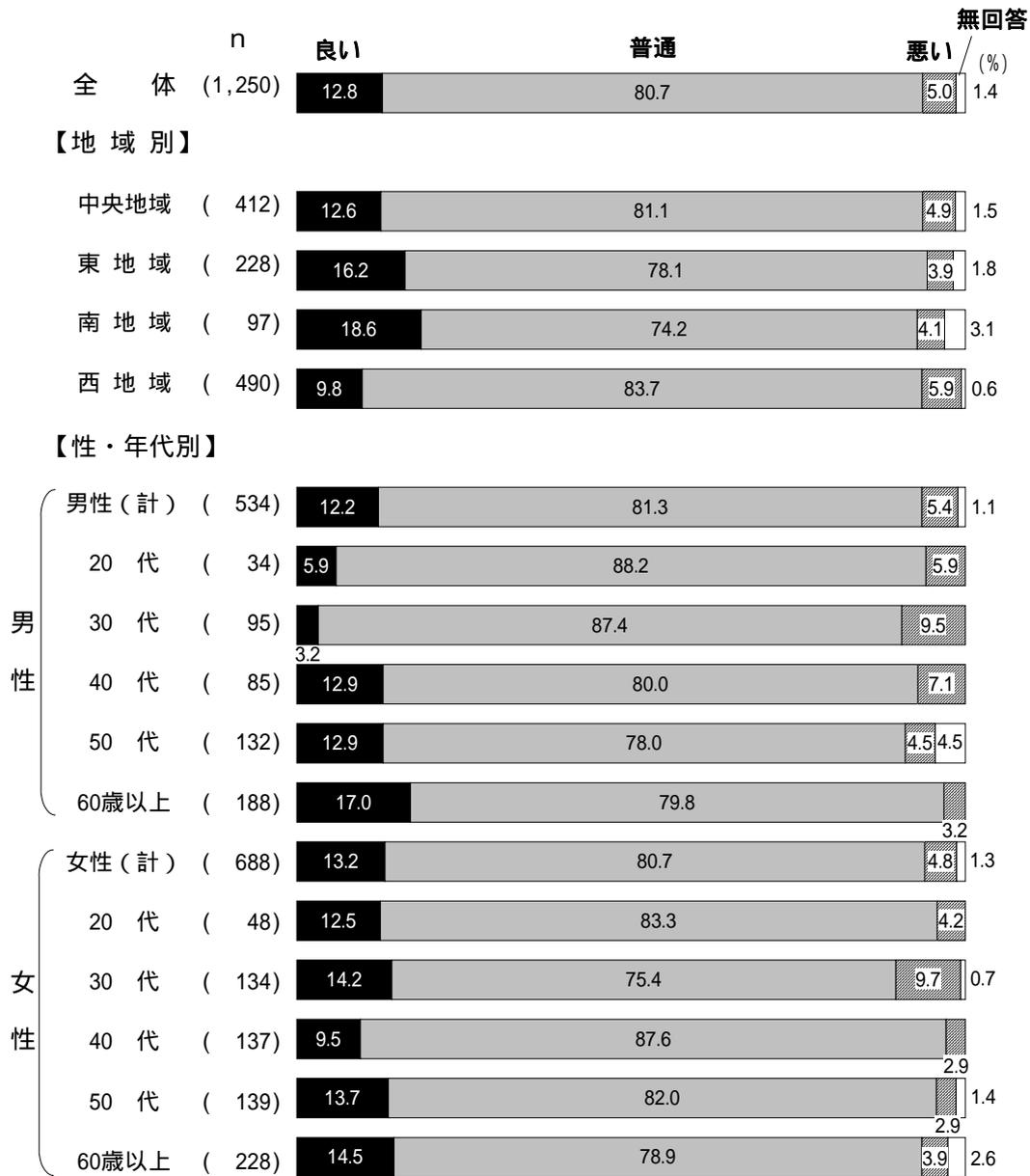
#### 【性・年代別】

情報・内容のわかりやすさが「良い」は、男性60歳以上(17.0%)が最も高く、次いで、女性の60歳以上(14.5%)、30代(14.2%)、50代(13.7%)となっているものの、男性の20代(5.9%)と30代(3.2%)、女性の40代(9.5%)で低くなっている。

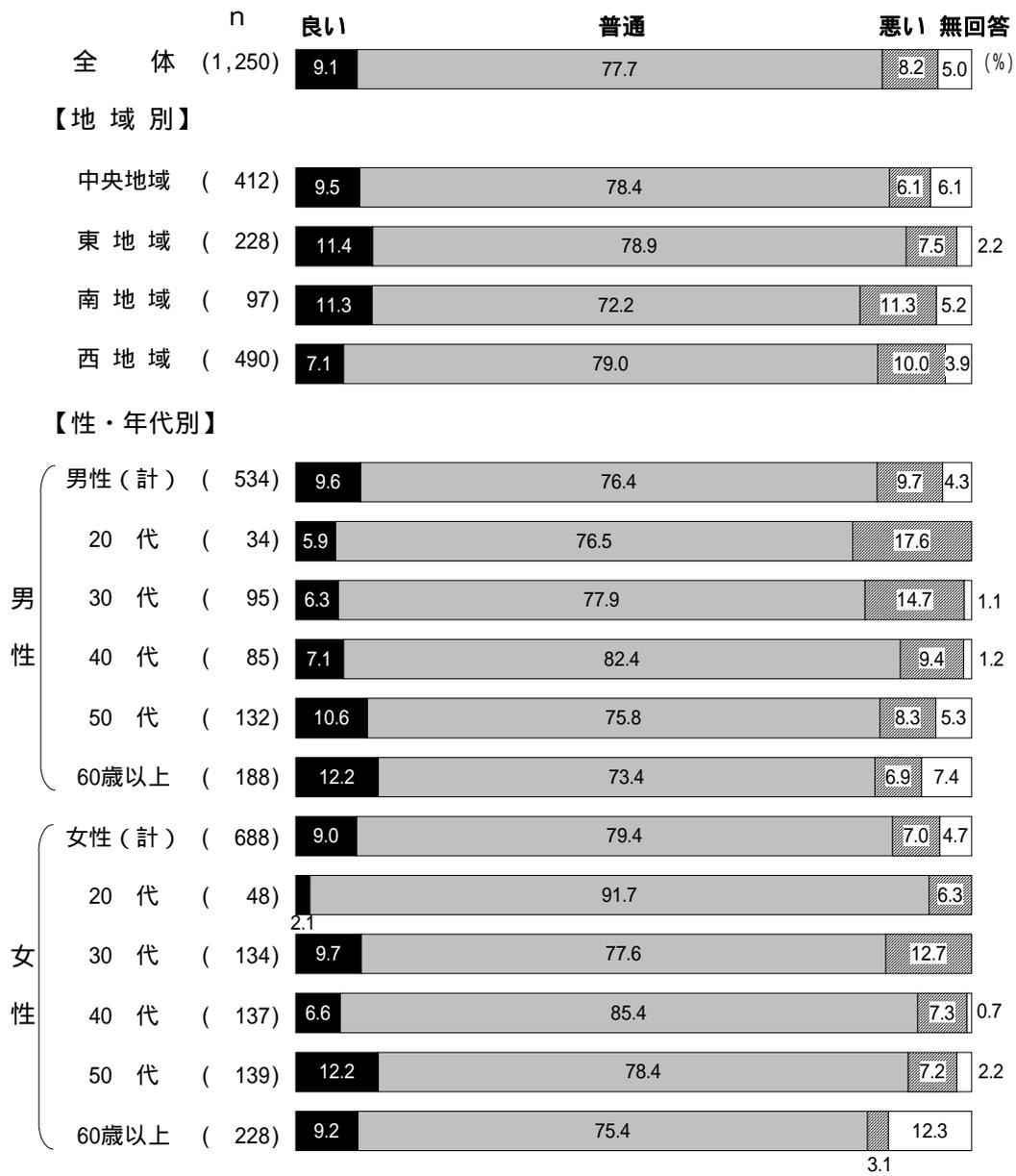
デザインの良さが「良い」は、男性の50歳以上と女性の50代(12.2%)で1割を超えるものの、他の年代は1割未満で、特に女性の20代(2.1%)が低い。逆に、「悪い」は、男性の20代(17.6%)と30代(14.7%)、女性30代(12.7%)で1割を超えている。(図表5 - 8)

<図表5 - 8> 「ちば県民だより」の内容について / 地域別、性・年代別

情報・内容のわかりやすさ



## デザインの良さ

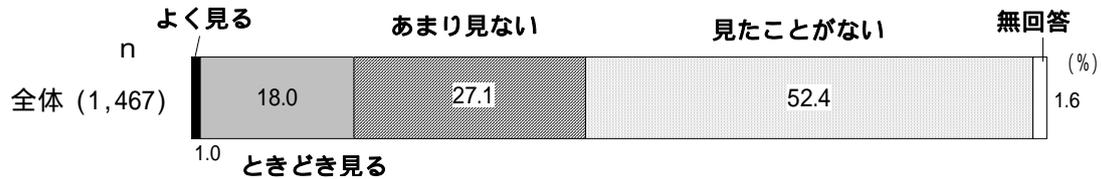


#### (4) 県の広報番組の視聴状況

『見る』は約2割。「見たことがない」が5割を超える

問18 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。( は1つ)

<図表5 - 9> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(1.0%)と「ときどき見る」(18.0%)を合わせた『見る』(19.0%)は約2割である。一方、「あまり見ない」(27.1%)が約3割で、「見たことがない」(52.4%)は5割を超え最も多い。(図表5 - 9)

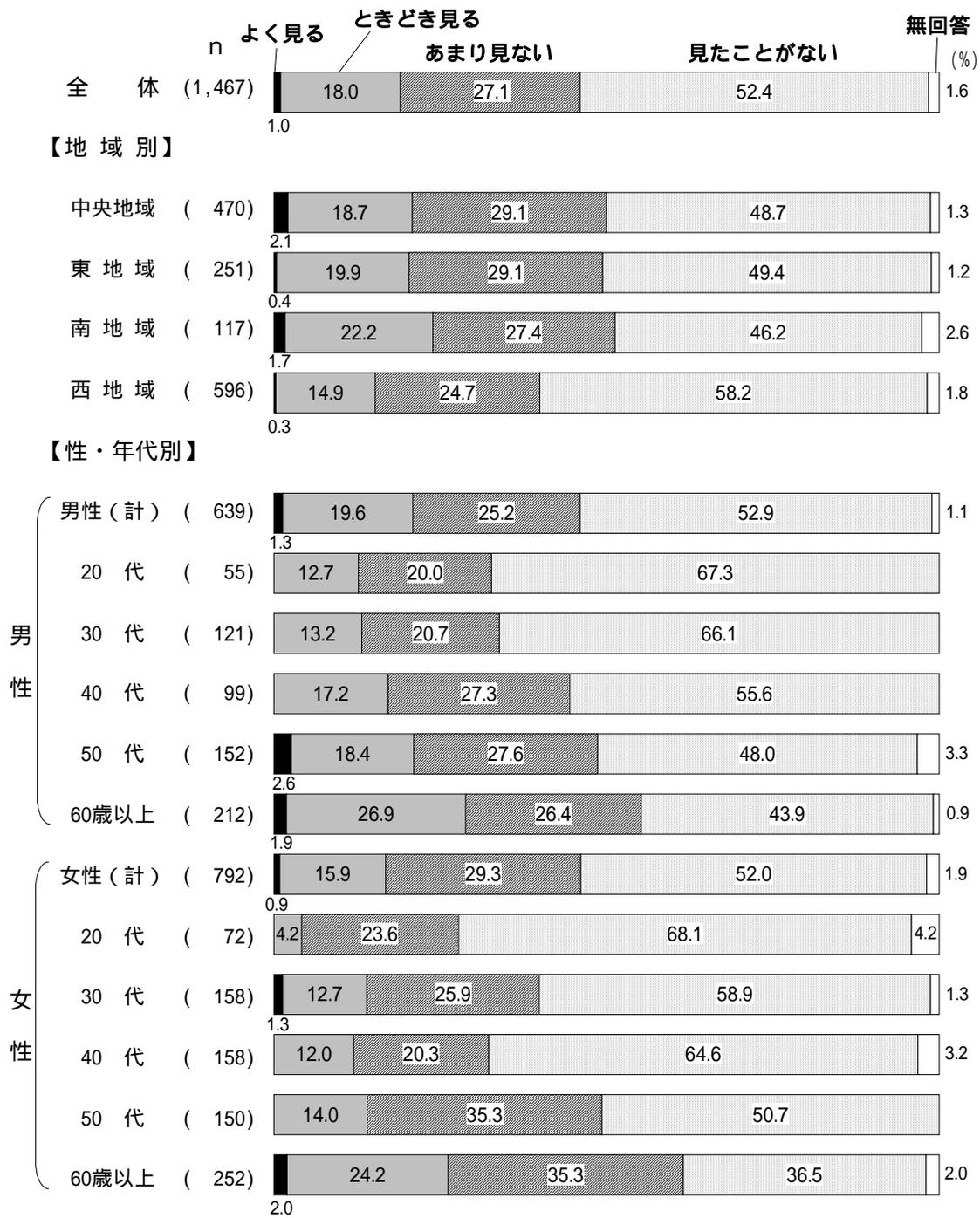
##### 【地域別】

最も『見る』地域は“南地域”(23.9%)で、最も「見たことがない」地域は“西地域”(58.2%)となっている。(図表5 - 10)

##### 【性・年代別】

男性の50歳以上と女性の60歳以上(26.2%)で、『見る』が2割を超えている。なお、男女とも年代が上がるほど『見る』が高くなる傾向にある。「見たことがない」は、男性の20代(67.3%)と30代(66.1%)、女性の20代(68.1%)と40代(64.6%)で6割を超えている。(図表5 - 10)

<図表5 - 10> 県の広報番組の視聴状況 / 地域別、性・年代別

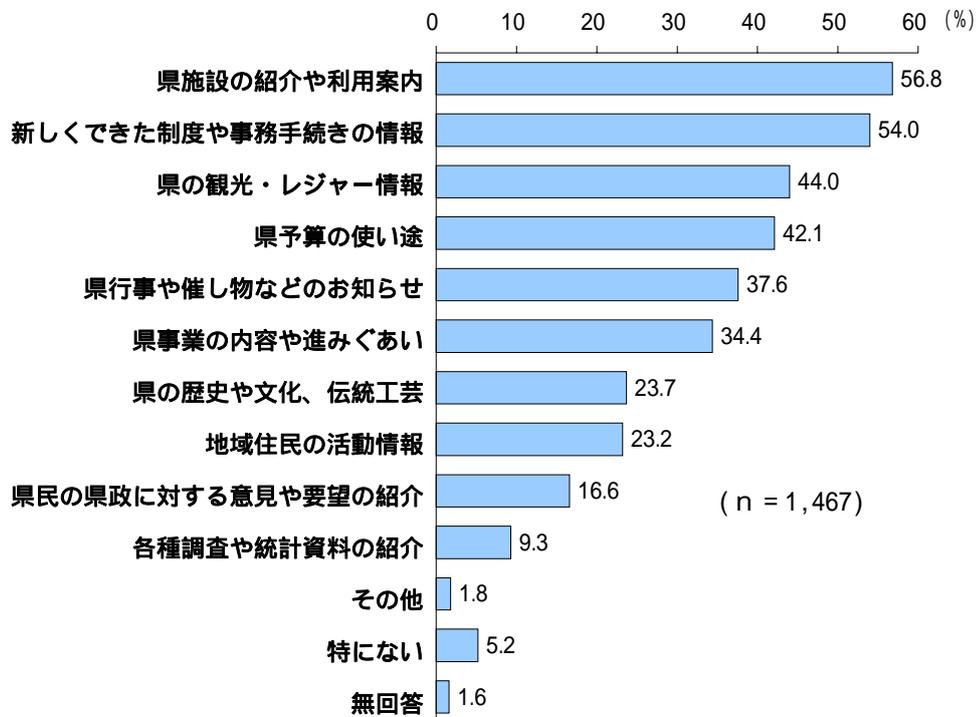


## ( 5 ) 県の知りたい情報

「県施設の紹介や利用案内」と「新しくできた制度や事務手続きの情報」が5割台半ば

問19 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。( はいくつでも )

< 図表 5 - 11 > 県の知りたい情報 ( 複数回答 )



県について知りたい情報をいくつでも選んでもらったところ、「県施設の紹介や利用案内」( 56.8% ) と「新しくできた制度や事務手続きの情報」( 54.0% ) が5割台半ばで高くなっている。次いで、「県の観光・レジャー情報」( 44.0% ) と「県予算の使い途」( 42.1% ) が4割を超え、「県行事や催し物などのお知らせ」( 37.6% ) と「県事業の内容や進みぐあい」( 34.4% ) が3割を超えている。( 図表 5 - 11 )

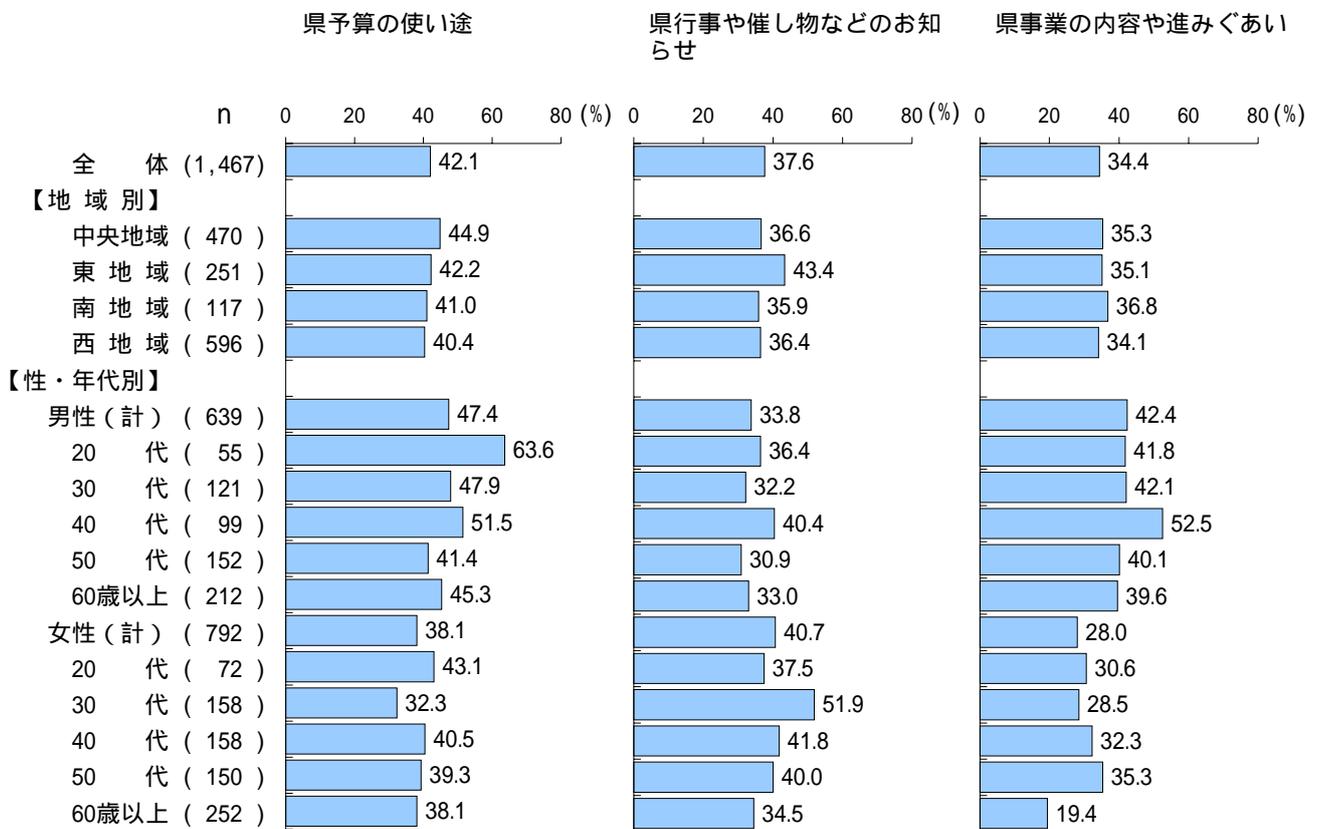
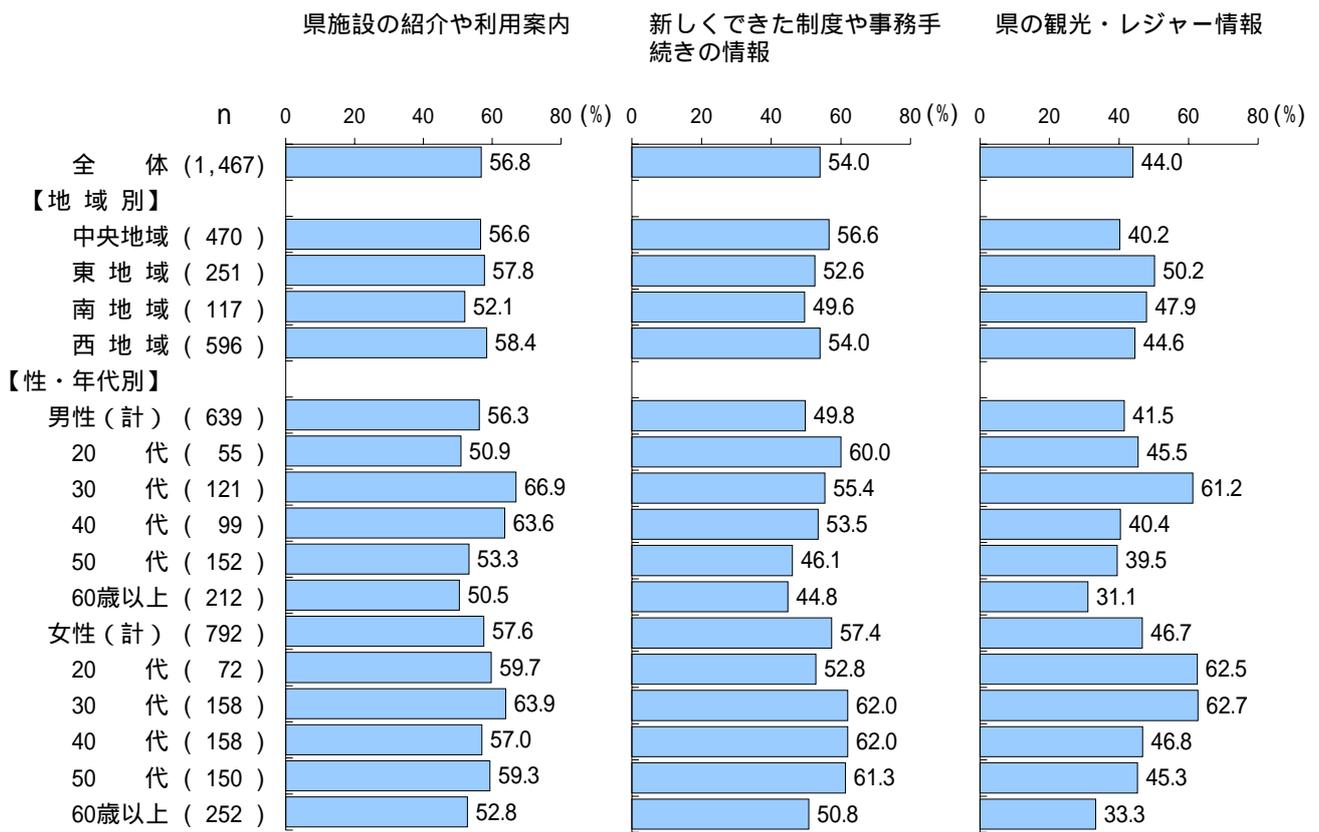
### 【地域別】

「県施設の紹介や利用案内」と「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、地域の差はないが、“南地域”がそれぞれ5割前後で多少低くなっている。「県の観光・レジャー情報」は、“東地域”( 50.2% ) が5割で最も高く、“中央地域”( 40.2% ) が4割で低くなっている。「県行事や催し物などのお知らせ」は“東地域”( 43.4% ) で4割台半ばと最も高い。( 図表 5 - 12 )

### 【性・年代別】

「県施設の紹介や利用案内」は、男性の30代( 66.9% ) と40代( 63.6% )、女性の20代から50代が6割前後と高い。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は男性の20代( 60.0% )、女性の30~50代で6割以上となっている。「県の観光・レジャー情報」は、男性の30代( 61.2% )、女性の20代( 62.5% ) と30代( 62.7% ) が6割を超えている。また、「県予算の使い途」は男性の20代( 63.6% ) が目立って高い。「県行事や催し物などのお知らせ」は女性の30代( 51.9% ) で、「県事業の内容や進みぐあい」は男性の40代( 52.5% ) で5割を超える。( 図表 5 - 12 )

<図表5 - 12> 県の知りたい情報 / 地域別、性・年代別（上位6項目）

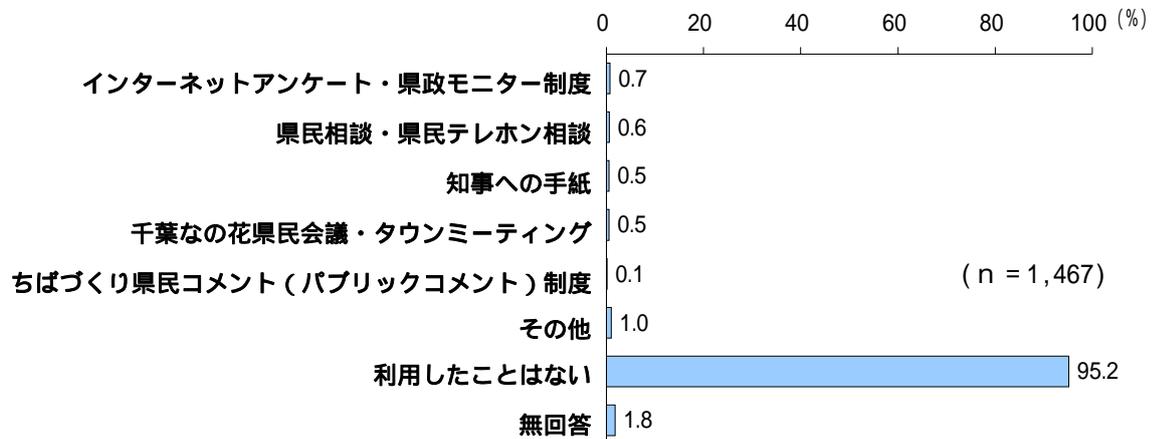


## ( 6 ) 知事への手紙などで意見を述べた経験

「利用したことがない」が9割台半ば

問20 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで意見を述べたことがありますか。( はいいくつでも )

< 図表 5 - 13 > 知事への手紙などで意見を述べた経験 ( 複数回答 )



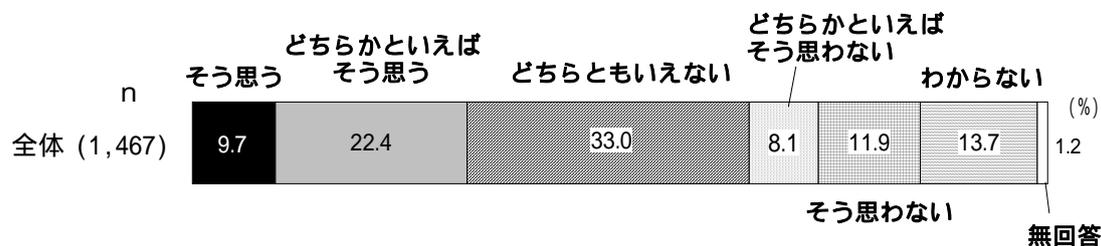
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」( 95.2% )が9割台半ば、利用したことのあるものでは「インターネット・県政モニター制度」が0.7%、「県民相談・県民テレホン相談」が0.6%、「千葉なの花県民会議・タウンミーティング」と「知事への手紙」がそれぞれ0.5%などとなっている。( 図表 5 - 13 )

## (7) 県政への意見の反映

『そう思う』が3割を超える

問21 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。( は1つ)

<図表5 - 14> 県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(9.7%)と「どちらかといえばそう思う」(22.4%)を合わせた『そう思う』(32.1%)は3割を超える。「そう思わない」(11.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(8.1%)を合わせた『そう思わない』(20.0%)は2割である。(図表5 - 14)

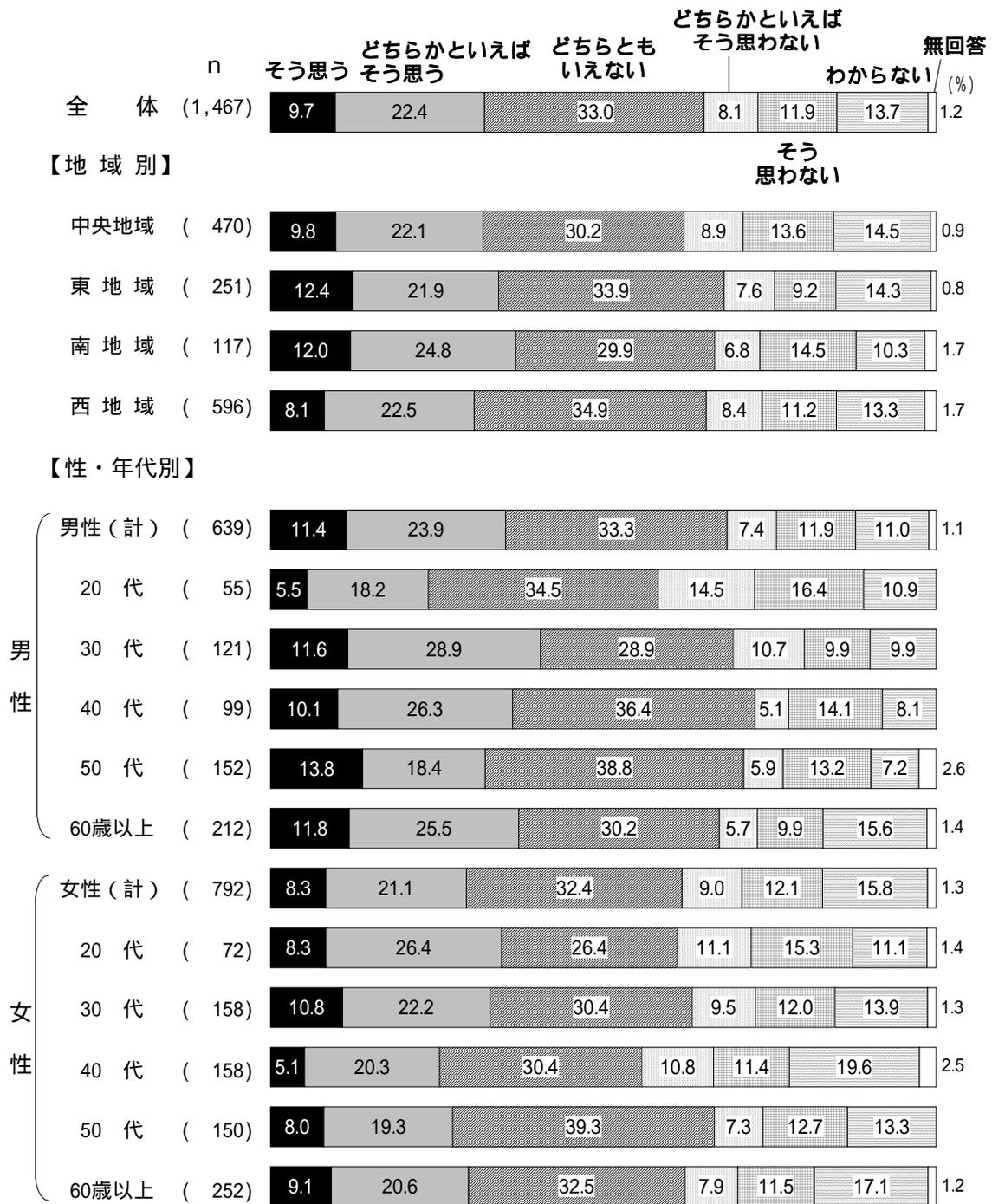
### 【地域別】

『そう思う』は“南地域”(36.8%)が3割台半ばで最も高く、“西地域”(30.6%)が最も低い。『そう思わない』は“中央地域”(22.5%)と“南地域”(21.3%)で高く2割を超えている。(図表5 - 15)

### 【性・年代別】

『そう思う』は男性の30代(40.5%)、40代(36.4%)、50代(32.2%)、60歳以上(37.3%)で3割を超えている。逆に、『そう思わない』は男女の20代で高く、特に、男性(30.9%)は3割を超えている。(図表5 - 15)

<図表5 - 15> 県政への意見の反映 / 地域別、性・年代別

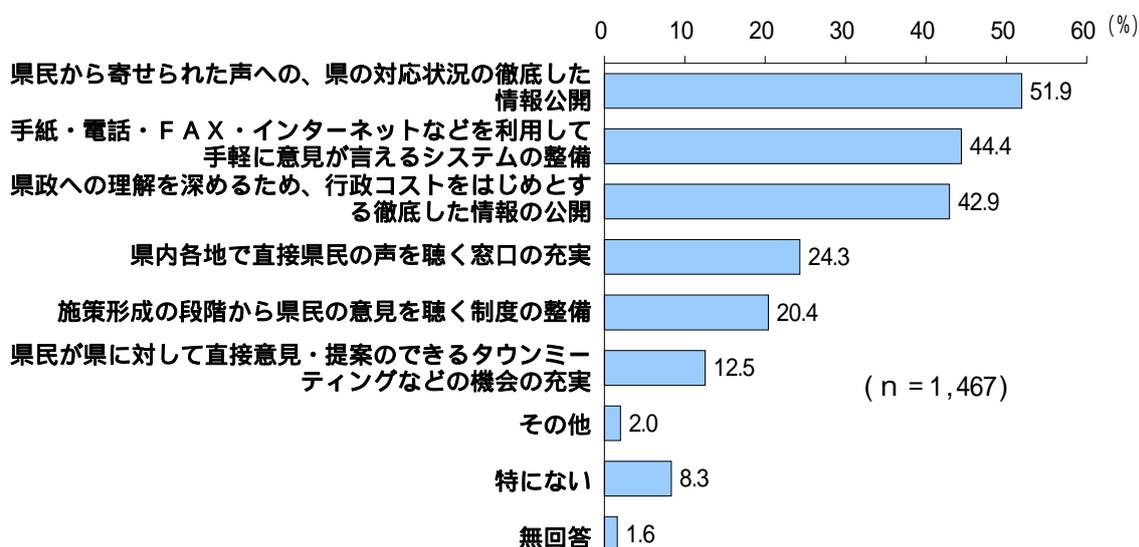


## ( 8 ) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が5割を超える

問22 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。( は3つまで)

< 図表 5 - 16 > 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと ( 複数回答 )



県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(51.9%)が5割を超え高くなっており、これに「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの整備」(44.4%)と「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(42.9%)が4割を超え続く。(図表5-16)

### 【地域別】

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は、“南地域”(58.1%)が最も高く、“東地域”(49.0%)が最も低くなっている。「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの整備」は、“西地域”(48.3%)が最も高く、“中央地域”(40.4%)が最も低くなっている。(図表5-17)

### 【性・年代別】

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は、男性の30代(58.7%)と女性の30~50代で6割前後と高くなっており、女性の30代は「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの整備」(58.2%)でも約6割となっている。「県内各地で直接県民の声を聴く窓口の充実」では、男性の60代(31.6%)と女性の50歳以上で3割を超え比較的高くなっている。また、「施策形成の段階から県民の意見を聴く制度の整備」は、男女ともに40代が高く、特に、男性(33.3%)は3割台半ばとなっている。(図表5-17)

<図表5 - 17> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと / 地域別、性・年代別

